

令和7年度岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校入学者選抜

適性検査結果の概要

1 学校別受検状況

学 校 名	募集定員 (a)	志願者数	受検者数 (b)	受検倍率 (b) / (a)	合格者数
岡 山 操 山 中 学 校	120 (120)	372 (352)	363 (340)	3.0 (2.8)	120 (120)
倉 敷 天 城 中 学 校	120 (120)	287 (277)	284 (274)	2.4 (2.3)	120 (120)
津 山 中 学 校	80 (80)	120 (173)	117 (170)	1.5 (2.1)	80 (80)
岡山大安寺中等教育学校	160 (160)	404 (473)	395 (469)	2.5 (2.9)	160 (160)
計	480 (480)	1,183 (1,275)	1,159 (1,253)	2.4 (2.6)	480 (480)

() は令和6年度

2 適性検査Ⅰ及びⅡの全体最高、最低、平均点(100点法換算)

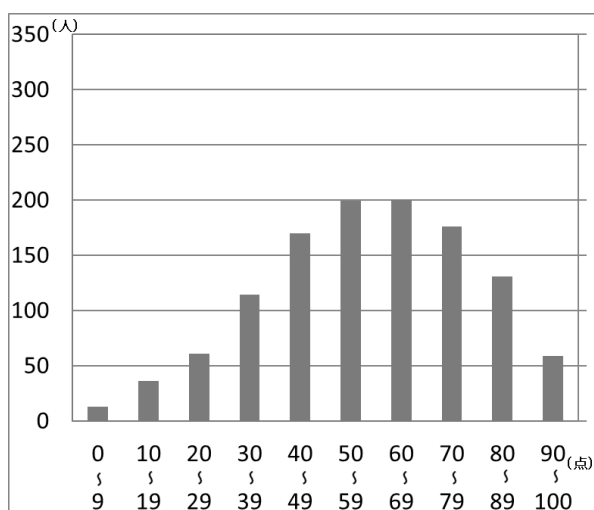
	R 7			R 6	R 5
	最高点	最低点	平均点	平均点	平均点
適性検査Ⅰ	100	0	57.8	54.0	43.9
適性検査Ⅱ	96	3	56.1	48.0	52.6

(適性検査Ⅰ：身のまわりの事象や自然の現象等を題材としたもの)

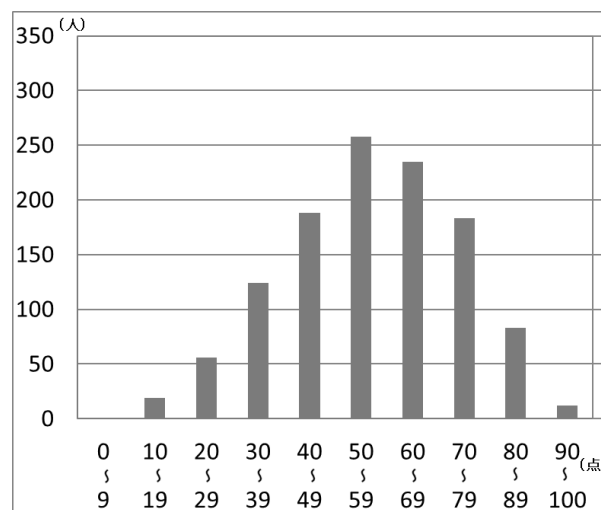
(適性検査Ⅱ：日常生活や社会的事象に関する文章や資料等を題材としたもの)

3 度数分布

適性検査Ⅰ



適性検査Ⅱ



本冊子は、課題ごとに次のとおり構成されています。

1 適性検査Ⅰ（課題１～３）

出題のねらい

（１）課題１ 設問（１）～（３）

（２）課題２ 設問（１）～（３）

（３）課題３ 設問（１）～（２）

（ア）設問のねらい

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

（ウ）応答率

（エ）正答例

2 適性検査Ⅱ（課題１～３）

出題のねらい

（１）課題１ 設問（１）～（４）

（２）課題２ 設問

（３）課題３ 設問（１）～（３）

（ア）設問のねらい

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

（ウ）応答率

（エ）正答例（課題２は評価基準）

目 次

1 適性検査Ⅰ	
出題のねらい	1
（１）課題１	
設問（１）	2
設問（２）	3
設問（３）	4
（２）課題２	
設問（１）	5
設問（２）	6
設問（３）	7
（３）課題３	
設問（１）	8
設問（２）	9
2 適性検査Ⅱ	
出題のねらい	11
（１）課題１	
設問（１）	12
設問（２）	13
設問（３）	13
設問（４）	14
（２）課題２	
設問	15
（３）課題３	
設問（１）	16
設問（２）	17
設問（３）	18

1 適性検査 I

出題のねらい

ア 全般的なねらい

身のまわりの事象や自然の現象等を題材として、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」など、小学校等の教育において身に付けている総合的な力をみる。

イ 課題ごとのねらい

課題 1

身のまわりの事象における問題解決の過程の中で、数学的な見方・考え方や理科の見方・考え方を働かせ、必要な情報を捉え、選択・活用しながら課題を解決する力をみる。

課題 2

日常生活で見られる事物・現象に疑問をもち、図やグラフを活用しながら、既習事項や実験結果と結び付けて考察する力をみる。

課題 3

身のまわりの事象について既習の知識を活用し、データの活用領域における言葉の定義に関する理解や、立体図形を多面的に見たり、目的に応じて組み合わせたりする力をみる。

(1) 課題 1

太郎さんのクラスは、来月、校外学習へ行きます。活動グループは4人1組で、A～Iの9つに分かれています。太郎さんと花子さんと次郎さんは、A、D、Fのそれぞれのリーダーです。3人は【校外学習のしおり】をもとに、昼食の計画を立てています。あとの(1)～(3)に答えましょう。

【校外学習のしおり】

○月○日の昼食について

1 作る料理

料理名	活動グループ
バーベキュー	A・D・F
カレー	B・E・G・I
すき焼き	C・H

2 グループで用意するもの

- ・クーラーボックス
- ・こおらせた保冷ざい
(クーラーボックス内の一番上に置くこと)



3 個人で用意するもの

- ・ふきん
- ・ティッシュペーパー
- ・軍手

4 買って用意するもの

- ・作る料理に必要な食材
- ・飲み物

買い物の計画を立てよう！

【注意すること】

- ☆予算は1人800円とする。
- ☆作る料理が同じグループは、まとめて食材を買うこと。
- ※バーベキューコンロやかまど、調理器具、食器類、着火そう置は活動場所で借りられます。

設問（１）

太郎：クーラーボックスに食材と保冷ざいを入れるんだね。

花子：しおりの中に、「こおらせた保冷ざいはクーラーボックス内の一番上に置くこと」と書いてあるけど、なぜだろう。

- （１） 保冷ざいはクーラーボックス内の一番上に置く方が、クーラーボックス内の全体の温度を均一に保つのに適しています。その理由について説明しましょう。

（ア）設問のねらい

日常生活で見られる温度を一定に保つ工夫と空気の温まり方とを結び付けて、説明することができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

理科	第4学年	A 物質・エネルギー (2) 金属、水、空気と温度 ア（イ） 金属は熱せられた部分から順に温まるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まること。
----	------	--

（ウ）応答率

（１）	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	80.2%	5.2%	13.0%	1.6%

（エ）正 答 例

温かい空気は上に移動し、その空気が保冷ざいによって冷やされるから。

設問（２）

太郎：バーベキューを選んだのは、A、D、Fの３つのグループだから
 まとめて12人分の準備をすればいいね。

次郎：買い物の計画を立てようよ。

太郎：飲み物はなるべく安くすませたいね。

花子：桃太郎商店の広告を見てみよう。



- （２） 桃太郎商店では、ジュースは１本200円で３本以上買うとジュースの合計金額が15%引き、お茶は１本160円で３本以上買うとお茶の合計金額が20%引きです。桃太郎商店でジュースを３本、お茶を４本買ったときの代金を答えましょう。また、その求め方を式や言葉を使って説明しましょう。ただし、消費税は考えないものとします。

（ア）設問のねらい

身のまわりの事象において、目的に応じて問題場面の数量関係に着目し、問題を数理的に処理することができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

算数	第５学年	C 変化と関係 (３) 割合 ア(イ) 百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。
----	------	--

（ウ）応答率

(２)	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	70.6%	22.7%	5.8%	0.9%

（エ）正 答 例

(説明)	ジュース	$200 \times 3 \times 0.85 = 510$
	お茶	$160 \times 4 \times 0.8 = 512$
		$510 + 512 = 1022$
(代金)	1022 円	

設問（３）

次郎：飲み物と野菜の費用を計算すると、お肉に7,000円は使えそうだよ。

花子：どのお肉を買おうかな。牛肉が好きな人が多かったから、牛肉が多めがいいかな。

太郎：じゃあ、牛肉を可能な限り多く買って、ぶた肉ととり肉も買おうよ。

次郎：どのお肉もそれぞれ400g以上買うようにしようよ。

花子：1人150g以上は食べることができるようにお肉を買いたいね。

太郎：みんなの希望を忘れるといけ^{わす}ないから、【買い物メモ】に書いておくね。

- （３）牛肉、ぶた肉、とり肉の100gあたりのねだんは表のようになります。【買い物メモ】にしたがって肉を買ったとき、牛肉、ぶた肉、とり肉をそれぞれ何gずつ買えばよいか答えましょう。ただし、どの肉も100gごとで買うものとし、消費税は考えないものとします。

牛肉	ぶた肉	とり肉
600 円	220 円	160 円

表 100gあたりの肉のねだん

【買い物メモ】

- ・肉の費用は 7,000 円以内にする
- ・牛肉は予算内で可能な限り多く買う
- ・牛肉、ぶた肉、とり肉の 3 種類を買う
- ・どの肉も 400 g 以上買う
- ・肉は 1 人 150 g 以上必要

（ア）設問のねらい

与えられた条件を正確に読み取り、条件にあてはまるものを試行錯誤しながら見つけることができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

算数	第5学年	[学びに向かう力・人間性等] 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度。
----	------	---

（ウ）応答率

（２）	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	36.5%	0.0%	56.6%	6.9%

（エ）正 答 例

牛肉を（ 800 ）g、ぶた肉を（ 400 ）g、とり肉を（ 600 ）g買えばよい。

※上記のほか

・牛肉を（ 800 ）g、ぶた肉を（ 400 ）g、とり肉を（ 700 ）g買えばよい。

・牛肉を（ 800 ）g、ぶた肉を（ 500 ）g、とり肉を（ 500 ）g買えばよい。 など

(2) 課題2

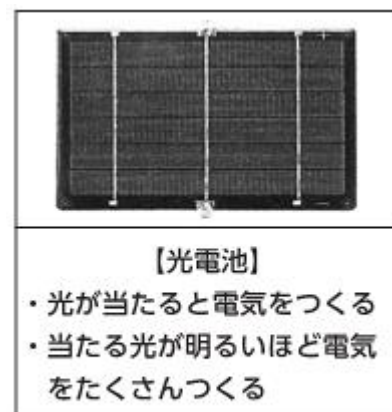
次の(1)～(3)に答えましょう。

設問(1)

- (1) 太郎さんは岡山県にある施設を見学したとき、図1のようにたくさんの黒いパネルがすべて南を向いていることに気がつきました。疑問に思っ^{ぎもん}て調べてみたところ、黒いパネルは図2の資料から光電池だと分かりました。光電池が南を向いている理由を一日の太陽の位置の変化に着目して説明しましょう。



図1 黒いパネル



【光電池】

- ・光が当たると電気をつくる
- ・当たる光が明るいほど電気をたくさんつくる

図2 資料

(ア) 設問のねらい

身のまわりの施設等に設置されている光電池が南を向いている理由について、一日の太陽の位置の変化と関連付けて考察し、説明することができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

理科	第3学年	A 物質・エネルギー (3) 光と音の性質 ア(ア) 日光は直進し、集めたり反射させたりできること。
		B 生命・地球 (2) 太陽と地面の様子 ア(ア) 日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わること。 (「太陽の位置の変化」については、東から南、西へと変化することを取り扱うものとする。)

(ウ) 応答率

(1)	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	78.0%	13.9%	7.9%	0.2%

(エ) 正答例

太陽の位置は東から南の空を通過して西へと変わるので、光電池が南の空を向いていることでもっとも長い時間、明るい光が当たるから。

設問（２）

（２） 花子さんは、図３のように40℃の水100mLに食塩30gとミョウバン30gを同時に混ぜてとかす実験をしました。図４は100mLの水の温度ともののとける量を表したグラフです。図３の蒸発皿^{じょうはつざら}の上に残ったFの重さは何gになりますか。また、Fには食塩とミョウバンはそれぞれ何g含まれると考えられますか。ただし、水に食塩とミョウバンを同時に混ぜてとかしても、それぞれ別々にとかしたときと、とける量は変わらないものとします。また別の器具に水溶液^{すいようえき}を移したり、ろ過したりするとき、すべてのものが移動し、元の器具には残らないものとします。

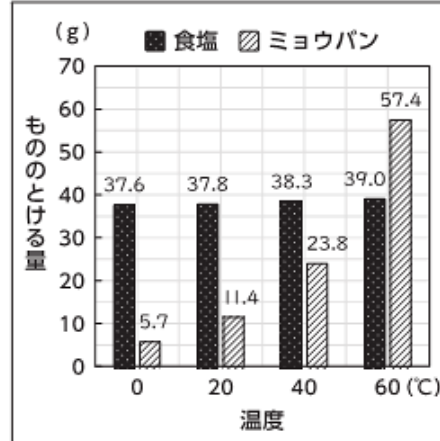


図４ 100 mLの水の温度ともののとける量

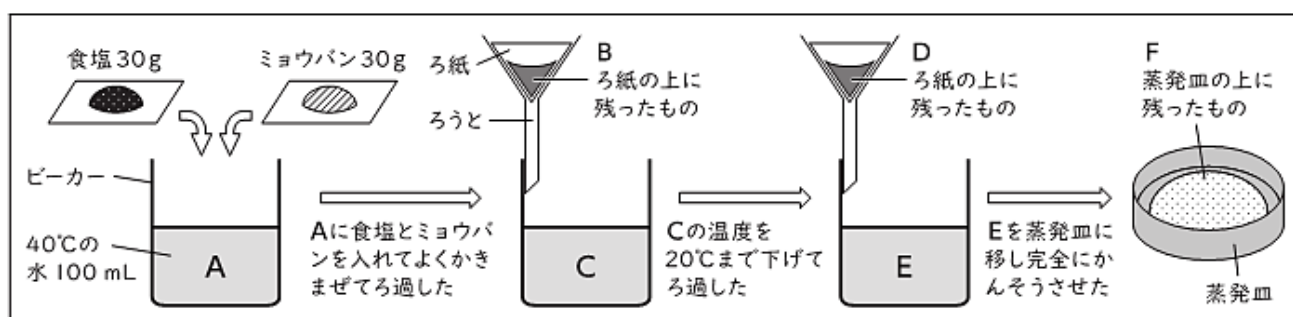


図３ 実験の流れ

（ア）設問のねらい

2つの物を同時に溶かす実験について、その手順や操作の意図、結果を図やグラフから読み取ることができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

理科	第5学年	A 物質・エネルギー
		（１）物の溶け方 ア（イ）物が水に溶ける量には、限度があること。 ア（ウ）物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと。また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができること。

（ウ）応答率

（２）	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	36.9%	26.7%	29.2%	7.2%

（エ）正 答 例

Fの重さは（ 41.4 ）gで、そのうち食塩は（ 30 ）g、ミョウバンは（ 11.4 ）gと考えられる。

設問（３）

- （３） 太郎さんと花子さんはエナメル線、ストロー、鉄心を用いて電磁石^{でんじしゃく}をつくりました。電流の大きさは変えずに、コイルの巻き数が100回巻き、200回巻き、300回巻きのものを用意し、それぞれ実験を行いました。それぞれの巻き数の電磁石に、太郎さんは1個0.3gの鉄のゼムクリップが、花子さんは1個1.0gの鉄くぎが、それぞれ何個までつくかを調べました。図5は、太郎さんと花子さんが書いたレポートの一部です。ア に当てはまる数字を小数第1位までのがい数で求めましょう。また、イ には理由として考えられることを書きましょう。

【予想】電磁石の強さはコイルの巻き数に比例する。

【結果から考えたこと】

ゼムクリップでは、コイルの巻き数と電磁石についた個数が比例の関係になった。電磁石についたゼムクリップの個数と1個あたりの重さを関連付けて考えると、電磁石の巻き数が100回増えるごとに、電磁石につくものの重さは **ア** g^{わりあい}の割合で増えている。

しかし、今回の実験では、コイルの巻き数と電磁石についた鉄くぎの個数の間に比例の関係が見られなかった。その理由は、

イ

よって、今後の実験では、鉄くぎよりもゼムクリップを用いて調べる方が適していると考えている。

【結果】

	ゼムクリップ	鉄くぎ
100回巻き	5個	1個
200回巻き	10個	3個
300回巻き	15個	4個

図5 太郎さんと花子さんが書いたレポートの一部

（ア）設問のねらい

電磁石の強さと巻数の関係についての実験の予想と結果が異なるという問題に対し、実験の結果を定量的に分析・考察し、自分の考えを表現することができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

理科	第5学年	A 物質・エネルギー （３） 電流がつくる磁力 ア（イ） 電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わることを。 イ 電流がつくる磁力について追究する中で、電流がつくる磁力の強さに関係する条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。
----	------	---

（ウ）応答率

（３）	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	15.4%	55.5%	26.1%	2.9%

（エ）正 答 例

ア 1.5

イ

（例1）鉄くぎが1個増えるごとに鉄くぎ全体の重さは1.0gの割合で増えるが、電磁石につく鉄くぎの個数は整数であるため、電磁石につく鉄くぎ全体の重さを1.5gの割合で増やすことはできないから。

（例2）鉄くぎ1個あたりの重さは1.0gであり、電磁石につく鉄くぎの個数は整数になるため、100回巻きや300回巻きでそれぞれ、1.5個や4.5個になることはないから。

(3) 課題3

次の(1)、(2)に答えましょう。

設問(1)

- (1) 太郎さんは、自分の住んでいる町にあるA小学校、B小学校、C小学校について、6年生のソフトボール投げの記録の^{へいきんち}平均値を調べ、表にまとめました。3小学校の6年生全体の平均値を求める方法として、「それぞれの平均値を合計して3で割る。」と考えましたが、太郎さんの求め方は正しくありません。正しい求め方を式や言葉を使って説明しましょう。ただし、平均値を求める必要はありません。

	人数(人)	平均値(m)
A小学校	125	21.7
B小学校	25	27.8
C小学校	50	22.8

表 3小学校の6年生の
ソフトボール投げの記録

(ア) 設問のねらい

身のまわりにある事象において、平均値の求め方を正しく理解しているか、問題場面の平均値の求め方を言葉や式を用いて表現することができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

算数	第5学年	D データの活用 (2) 測定値の平均 ア(ア) 平均の意味について理解すること。 イ(ア) 概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすこと。
----	------	--

(ウ) 応答率

(1)	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	47.3%	27.1%	18.6%	7.0%

(エ) 正 答 例

まず、各小学校6年生の記録の合計を求める必要がある。

A小学校： 21.7×125

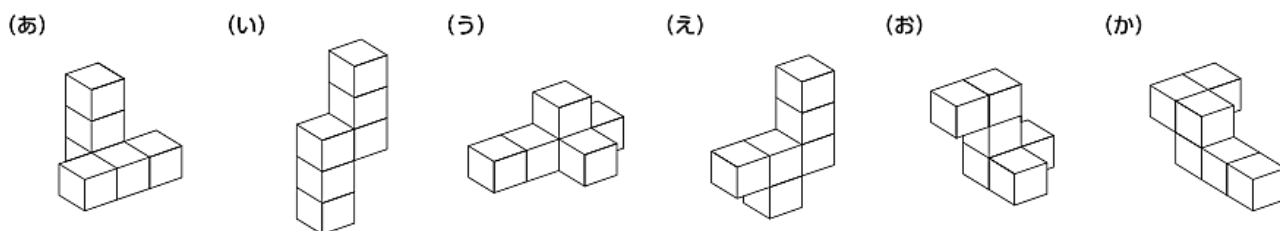
B小学校： 27.8×25

C小学校： 22.8×50

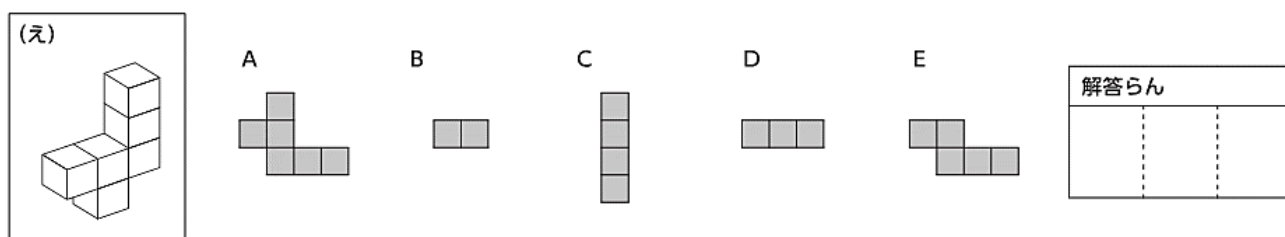
次に、この合計を、全体の人数($125 + 25 + 50$)で割ると、3小学校の6年生全体の平均値が求められる。

設問（２）①

（２） 花子さんのクラスでは発表会に向けて、立方体を組み合わせたパーツを使って^{てんじぶつ}展示物を作ることになりました。立方体を６つ組み合わせると、（あ）～（か）のようなパーツができます。



① （え）のパーツを、いろいろな方向から見たとき、正面（見えている各立方体の面が１面だけ見える方向）から見た図として当てはまるものが、下のＡ～Ｅの中に３つあります。すべて選び、解答らん^{こたへらん}に記号で答えましょう。



（ア）設問のねらい

空間図形を様々な方向から見たときの様子を想像し、空間認知能力を働かせながら、平面図形として表現した場合に適切かどうかを判断することができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

算数	第４学年	B 図形 （２） 立方体、直方体などの立体図形 ア（ア） 立方体、直方体について知ること。 イ（ア） 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すこと。
----	------	--

（ウ）応 答 率

（２）①	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	90.0%	0.0%	9.8%	0.2%

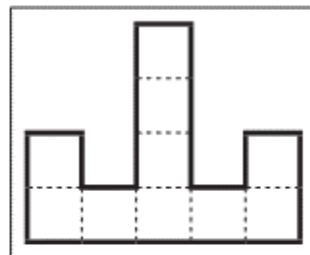
（エ）正 答 例

A、C、D	※順不同可
-------	-------

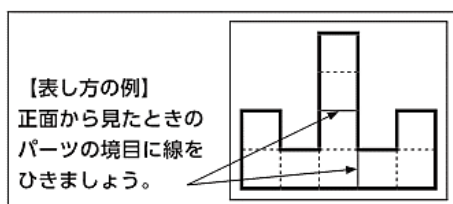
設問（２）②

（２）

② （あ）～（か）のパーツのうち異なる^{こと}３つを使って、正面から見たときに右の図のように「山」の字となる展示物を作ります。その際に、展示物を正面から見たときに、それぞれのパーツの見える面がほかのパーツでかくれないように配置します。展示物作りに使う３つのパーツの組み合わせを３通り考え、記号で答えましょう。また、【表し方の例】にしたがって、展示物を正面から見た様子をかきましょう。ただし、パーツはどの面を下にしても倒れないものとします。



図



記号			
展示物を正面から見た様子			

（ア）設問のねらい

空間図形を様々な方向から見たり、回転させたりして空間認知能力を働かせながら、問題場面に適した立体を選択し、目的に応じた表現をすることができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

算数	第6学年	〔数学的活動〕 （１）ア 日常の事象を数理的に捉え問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。
----	------	--

（ウ）応答率

（２）②	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	23.0%	37.2%	32.0%	7.8%

（エ）正答例

記号	（う）（え）（か）	（あ）（え）（か）	（い）（う）（か）
展示物を正面から見た様子			

※上記のほか

- ・（あ）（う）（え）
- ・（い）（え）（か） など（図は省略）

2 適性検査Ⅱ

出題のねらい

ア 全般的なねらい

日常生活や社会的事象に関する文章や資料等を題材として、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」など、小学校等の教育において身に付けている総合的な力をみる。

イ 課題ごとのねらい

課題 1

説明的な文章を読んで、言葉には意味による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしているか、叙述を基に内容の中心となる事柄を把握し、「日本語のあいまいさについてクラスで発表する」という目的に応じて内容を捉え、自分の考えを的確にまとめることができるかなどをみる。

課題 2

示された課題に対し、理由や事例を明確にしながら、筋道を立てて自分の考えを文章に書くことができるかをみる。

課題 3

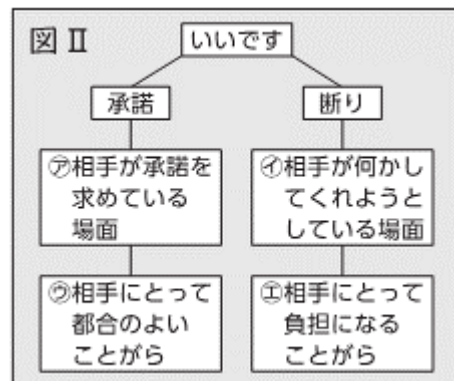
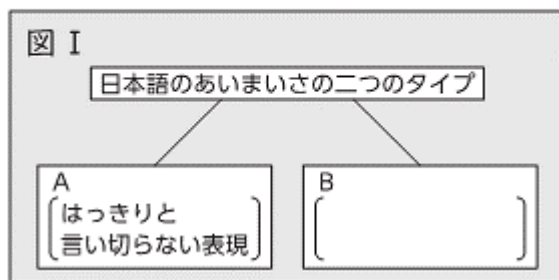
観光についての問題解決的な学習場面を設定し、資料を読み取りながら、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に捉え、考えたことや選択・判断したことを適切に表現することができるかをみる。

(1) 課題 1

太郎^{たろう}さんのグループは、日ごろ気になっていた「日本語のあいまいさ」について、クラスで発表することになりました。そのために、日本語のあいまいさに関する本を読み、内容をまとめたスライドを作成してグループで話し合いをしています。資料①から資料③を読んで、(1)から(4)に答えましょう。

(資料① 国立国語研究所編「日本語の大疑問2」第6章より 井上 優 著)

資料②【スライドの一部】



【話し合いの様子の一部】

太郎	図Ⅰのように、あいまいになる表現をA、B二つのタイプに分けて説明したらどうか。
花子	いいね。A、Bどちらの表現も、その表現を使う理由があるんじゃないかな。
次郎	そうだね。Aの「はっきりと言いきらない表現」って、誤解を招くもどかと思うんだけど、どうしてこんな表現をしてしまうのかな。
花子	でも、⑥わたしも資料①と同じで、「はっきりと言いきる」って少し苦手だな。
太郎	資料①をもとに、「いいです」という表現について二つの場面に分けて図Ⅱにまとめてみたけれど、この言葉って使い方が難しいよね。
次郎	メールとかでもよく使う言葉だけど、この前、自分と友だちとの受け取り方がちがって、とまどうことがあったんだ。
花子	わたしもあったよ。先週のこなんだけど、練習試合の場所がよく分からなくて、友だちにチャットで相談したの。「場所がよく分からないなら、当日の朝8時に花子さんの家までむかえに行ってもいい？」ってメッセージがきたから、「いいよ」って書いて送ったの。
次郎	それって花子さんはどういう意味で使ったのかな。
花子	図Ⅱの㊦のつもりで、わざわざ来てもらうのは申し訳ないから来なくていいよという意味で書いたんだけど。当日、友だちが8時にわたしの家にむかえに来たときは、あわてちゃったよ。今回のことで文字だけのやりとりって難しいと改めて実感したな。
次郎	チャットも便利だけど、⑦対面してやりとりしていたら、あいまいな表現でも誤解を招くことはなかったかもしれないね。
太郎	そのことについても発表しよう。

設問（1）

（1）~~~~ 線部「不必要」の「要」から始まる二字熟語を二つ考え、漢字で書きましょう。

（ア）設問のねらい

言葉には意味による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしているかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

国語	第5学年	〔知識及び技能〕 (1)オ 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。
	及び 第6学年	

（ウ）応答率

（1）	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	55.6%	31.7%	10.4%	2.4%

（エ）正答例

要素、要点、要約、要因、要求 など

設問（２）

（２） あなたが図Ⅰのスライドを完成させるなら、空らんBにどのように書きますか。十五字以内で書きましょう。

（ア）設問のねらい

資料から、スライドの空らんBに該当する内容を正しく読み取り、文体を整えて表現できるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

国語	第5学年 及び 第6学年	〔知識及び技能〕 (2)イ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。
----	--------------------	--

（ウ）応答率

（２）A	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	33.1%	29.9%	36.6%	0.3%

（エ）正答例

二つ以上の意味にとれる表現（13字）

設問（３）

（３） 花子さんが——線部㊦「わたしも資料①と同じで、『はっきりと言い切る』って少し苦手だな」と発言していますが、人がはっきりと言い切らない表現を使ってしまうがちなのはなぜですか。資料①を参考に、六十字以内で説明しましょう。

（ア）設問のねらい

叙述を基に内容の中心となる事柄を把握し、目的に応じて必要な情報を見つけ表現することができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

国語	第5学年 及び 第6学年	〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むこと (1)ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
----	--------------------	---

（ウ）応答率

（３）	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	16.0%	67.4%	14.8%	1.9%

（エ）正答例

はっきりと言い切る言い方は、聞き手に対してきつい印象を与えてしまうので、話し手は表現をやわらげたいと考えるから。（56字）

設問（４）

（４） 次郎さんが——線部①「対面してやりとりしていたら、あいまいな表現でも誤解を招くことはなかったかもしれないね」と発言していますが、誤解を招くことがないよう、対面してやりとりするときにあなたならどのようなことに気をつけますか。図Ⅱの「いいです」を使う場面をふまえて、五十字以内で具体的に書きましょう。

（ア）設問のねらい

文章全体の要旨を捉えるとともに、言語生活を豊かなものとする態度や、音声表現を工夫する方法を踏まえて、自分の考えを簡潔に述べることができるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

国語	第3学年 及び 第4学年	〔思考力、判断力、表現力等〕A 話すこと・聞くこと (1)ウ 話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。
	第5学年 及び 第6学年	〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むこと (1)オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

（ウ）応 答 率

（４）	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	4.7%	44.5%	47.9%	2.9%

（エ）正 答 例

承だくするときはずきながら「いいです」と言い、断るときは首をふりながら「いいです」と言う。（４７字）

(2) 課題2

設問

次の資料は【PC・タブレットなどのICT機器を活用した学習状況】を調査した質問項目の一つです。この問いに対するあなたの考えに最も近い番号を一つ選んで□に書き、後の条件にしたがってあなたの考えを書きましょう。

〈条件〉

- まず、選んだ理由について今までの学習活動を取り上げて具体的に書くこと。次に、ICT機器を今後活用するとすれば、新たにどのような使い方が考えられるかについて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、二百字以内で書くこと。（、や。や「」は一字に数える。また、アルファベットは一字一マス使う。）
- 一マス目から書くこと。また、とちゅうで行を変えないこと。

質問：ICT機器を活用することで、※自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。

※ 自分のペースとは、自分の速度ややり方で物事を進めることを意味します。

1 とてもそう思う 2 そう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない

文部科学省「令和6年度全国学力・学習状況調査」から作成

私は□を選びました。なぜなら、

(ア) 設問のねらい

示された課題に対し、理由や事例を明確にしながら、筋道を立てて自分の考えを文章に書くことができるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

国語	第5学年	〔思考力、判断力、表現力等〕B 書くこと (1)イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 (1)ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
	及び 第6学年	

(ウ) 応答率

	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	9.1%	84.0%	6.6%	0.3%

(エ) 評価基準

自分自身の学習活動を振り返り、選んだ理由を具体的な学習活動を取り上げて書いてあり、今後どのような使い方が考えられるか、筋道を立てて200字以内で述べているものを評価する。

(3) 課題3

太郎さんたちは、観光に興味をもって調べ学習を行っています。あとの会話文を読んで、(1)～(3)に答えましょう。

設問(1)

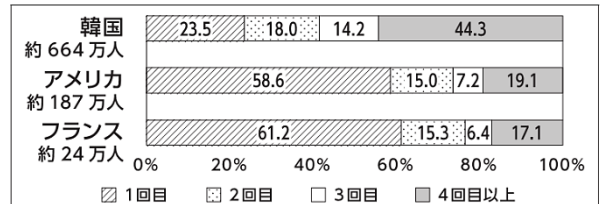
太郎：3か国から何人ぐらいの人が日本を訪れているかは、資料1を見るとわかるね。

花子：それぞれの国の人が、日本を何回訪れたかもわかるよ。

次郎：日本を訪れた回数が国によってずいぶんちがうね。何の関係しているのかな。

- (1) 韓国からの観光客の特ちょうについて、日本と韓国の地理的な関係と資料1の他の国と比べて読み取れることを関連づけて書きましょう。

資料1 外国人観光客が日本を訪れた人数と回数の割合(2023年)



(観光庁資料をもとに作成)

(ア) 設問のねらい

日本と主な国との地理的な関係と、資料から読み取った情報を関連付けて考えたことを適切に表現できるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

社会	第5学年	(1) ア (ア) 世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解すること。 (1) イ (ア) 世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現すること。
----	------	--

(ウ) 応答率

(1)	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
割合	25.8%	70.8%	2.4%	0.9%

(エ) 正答例

韓国はアメリカとフランスに比べて日本とのきよりが近いため、観光客数が最も多く、複数回訪れている割合が高いことが読み取れる。

設問（２）

花子：新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後、日本国内の観光客が増えているというニュースを見たよ。

次郎：世界遺産に登録されている富士山に、昨年度約20万人もの人が訪れたことで起きた問題について、富士山にある山小屋のオーナーが話をしている記事（資料２）を見つけたよ。

太郎：資料２の話を解決するために、富士山がある山梨県や静岡県では、資料３のような対策を新たに決めて、取り組みを始めたそうだよ。

（２） 資料２の中で取り上げられている二つの問題を解決するには、あなたなら資料３のどの対策例が効果的と考えますか。①～④から二つ選び、それぞれの対策によって得られる効果について、あなたの考えを書きましょう。

資料２ 山小屋オーナーの話

近年、二つの問題が起こっていて困っています。一つは、登山客が増えて、登山道が非常に混雑し、思うように進めないことです。もう一つは、マナーが悪い登山客が他の人に迷惑をかけることが増えていることです。

資料３ 富士登山の問題への対策例

- ① 1日の登山客数を4000人までにする。
- ② 一人当たり通行料2000円を集める。
- ③ 午後4時から午前3時までの登山をやめさせる。
- ④ 登山口でビニール袋を配布する。

（環境省資料をもとに作成）

（ア）設問のねらい

資料から観光客が増加したことに起因する問題と、それらの問題を解決するための対策例を把握し、得られる効果について、選択・判断し、考えたことを適切に表現できるかをみる。

（イ）学習指導要領における関連の深い領域・内容

社会	第5学年	（１）イ（イ） 地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現すること。 （５）ア（ウ） 関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解すること。
----	------	---

（ウ）応答率

（２）	正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無 答
割合	75.8%	22.2%	1.6%	0.5%

（エ）正 答 例

・選んだ番号①

1日の登山客数を規制し、登山客数を減らすことにより、登山道の混雑を解消する。

・選んだ番号④

ビニール袋を配布し、自分のゴミを捨てずに持ち帰ってもらうことにより、マナーの改善につなげる。

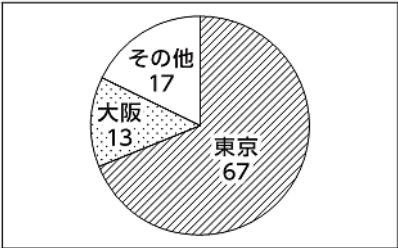
設問（3）

次郎：最近、県や市などのアンテナショップに観光客をふくむ多くの人が訪れているんだって。アンテナショップとは、その地域の有名なものを取りあつかっているお店のことで、その半数以上が東京都にあることが、資料4からわかるね。

花子：資料5を見ると、来店人数が一番多かったのは、北海道のアンテナショップだったんだね。

太郎：資料6から、県や市はアンテナショップに食品や工芸品などを販売する役割だけを期待しているわけではないこともわかるね。

資料4 国内のアンテナショップの数（令和5年度）



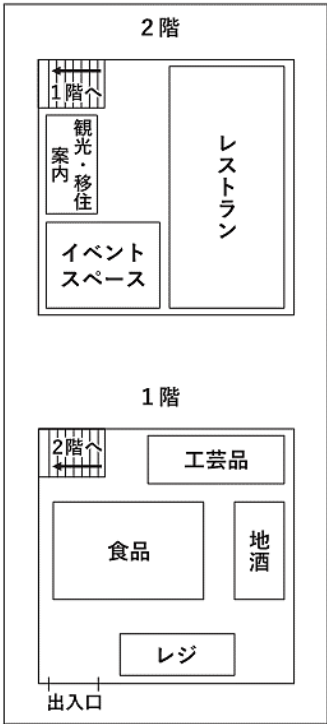
（地域活性化センター資料をもとに作成）

資料5 東京都内のアンテナショップ来店人数の上位10道県（令和4年度）

1位	北海道	6位	群馬県
2位	沖縄県	7位	福島県
3位	宮城県	8位	鹿児島県
4位	岩手県	9位	宮崎県
5位	山形県	10位	熊本県

（ブランド総合研究所資料をもとに作成）

資料6 アンテナショップの館内図の例



（3） 太郎さんは資料4～6から読み取ったことを【ノート】にまとめました。【ノート】の A には国内のアンテナショップの半数以上が東京都にある理由を、 B と C には最も適切な地方名を書きましょう。また、 D には書き出しに続けて、あなたが考える県や市がアンテナショップに期待している役割を具体的に書きましょう。

【ノート】

資料4 国内にあるアンテナショップの半数以上が東京都にある理由

A から。

資料5 北海道地方や B 地方、 C 地方、関東地方のアンテナショップが人気である。

資料6 アンテナショップの館内では、さまざまなことを行っている。



特産品などを販売するだけではなく、

D

(ア) 設問のねらい

資料やノートをもとに、アンテナショップの特色と、アンテナショップに期待される役割について考えたことを適切に表現できるかをみる。

(イ) 学習指導要領における関連の深い領域・内容

社会	第4学年	(1) ア(ア) 自分たちの県の地理的環境の概要を理解すること。また、47都道府県の名称と位置を理解すること。 (5) ア(ア) 県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解すること。
	第5学年	(1) ア(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。 (2) ア(イ) 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食糧生産を支えていることを理解すること。

(ウ) 応答率

(3)		正答としたもの	部分点を与えたもの	誤答としたもの	無答
A	割合	78.4%	9.1%	8.5%	4.0%
B C	割合	81.1%	0.0%	16.6%	2.3%
D	割合	13.9%	30.9%	49.9%	5.3%

(エ) 正答例

- A 人が多く集まる(から。)
- B 九州
- C 東北 ※BとCについては順不同可
- D 観光地を紹介するなど、その地域の魅力を発信する。

適性検査Ⅱにおける出題の誤りについて

適性検査Ⅱ課題3(3)において、以下の通り出題に誤りがありましたが、設問の趣旨が変わるものではないと判断し、すべての答案の再確認を行った結果、合否に影響がないものとして、特段の対応は行っていません。

なお、本冊子には、実施した問題をそのまま掲載しています。

該当箇所：①日本国内のアンテナショップの数を示す円グラフの数値、会話文及び設問。
②東京都内のアンテナショップの来店人数を示す資料の表題。

内 容：

【誤】①数値：東京 67、大阪 13、その他 17

会話文及び設問：半数以上が東京都にある

②東京都内のアンテナショップ来店人数の上位 10 道県(令和4年度)

【正】①数値：東京 67、大阪 13、その他 84

会話文及び設問：40%以上が東京都にある

②東京都内のアンテナショップ来店人数の上位 10 道県(令和4年時点)